

発行：草加市議会議員 関 一幸

市政報告



地域ニュース



暮らしたいと思う谷塚をつくろう！

関一幸による平成26年度施政方針に対する代表質問より

○谷塚駅西口地区のまちづくりの進め方について

質問：谷塚駅西口地区について都市基盤の整った南の玄関口をめざし谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会と協働でまちづくりを推進していくのか。

答弁：谷塚駅西口のまちづくりについては、昨年11月に地元権利者の皆様方に設置していただいた「谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会」と協働で、地区の現状と課題を整理し、駅周辺にふさわしい、どのような土地利用計画とするのか、まちづくりの対象区域、整備手法などにつきまして、検討するとともに、関係権利者に対しまして説明会などを開催する中で、合意形成を図ってまいります。

○谷塚駅ホームの防風壁の設置について

質問：市内4駅の中で谷塚駅のホームは唯一防風壁がありません。利用する市民から設置に対し多くの意見が寄せられていますが、東武鉄道に対し設置を働きかけてはどうでしょうか？見解を伺います。

答弁：東武鉄道では、高架上など風当たりの強い駅を中心に風除けの整備を進めていると伺っております。耐震性の問題や多大な費用を要することなど数々の課題はございますが、県が取りまとめている鉄道整備要望を通じて谷塚駅の風よけの整備について鉄道事業者に働きかけてまいります。

○谷塚松原線の進捗状況について

質問：都市計画道路の整備は、交通の利便性や地域の活性化が図られるほか、災害時の避難道路、消防活動空間、延焼遮断帯及び緊急物資の輸送路などとして、防災上においても必要な路線として位置づけられております。都市計画道路 谷塚松原線は、谷塚上町地内の県道吉場安行東京線を起点として 松原1丁目地内の「独協さくら橋」横を終点とする路線で、市域のほぼ中央を東武鉄道に沿うように南北を貫き、谷塚駅、草加駅及び松原団地駅の西口を結び、駅 西側周辺のまちづくりの活性化や木造密集地域の災害対策などに繋がる重要な幹線道路となると思います。そのような中、県道吉場安行東京線から県道川口草加線までの区間の早期開通を地域の皆さんが長い間、待ち望んでいるところでありますが、現在の進捗状況を伺います。また、この区間の整備が完成した暁には、谷塚松原線のどの箇所の整備を考えているのかお示してください。

答弁：都市計画道路谷塚松原線の進捗状況については、現在、谷塚町地内の谷塚小学校通り（市道2100号線）から県道川口草加線までの延長291mの区間のうち、県道川口草加線との交差点部を含めた街路築造工事を進めている状況で、当該区間が完成しますと、県道吉場安行東京線から県道川口草加線までの延長約1.6キロメートルの全線が開通する予定です。（平成26年6月末開通予定）

また、当該箇所の完成後の谷塚松原線の新規事業区間の整備としまして、氷川町地内の、旧県道浦和草加線交差点（市道1046号線）から草加三丁目地内の男女土橋（南）交差点までの延長約680メートル区間につきまして、平成26年度に事業認可を得るなかで、事業の促進を図ってまいりたいと考えております。

★市議会の様子がホームページからご覧になれます！★本会議中は生中継です。★過去の本会議もご覧頂けます。

★草加市議会ホームページ⇒ www.soka-shigikai.jp